

千葉市制100周年記念 令和2年度特別展

軍都千葉と千葉空襲

— 軍と歩んだまち・戦時下のひとびと —

令和2年10月27日(火) ▶ 12月13日(日)

千葉市立郷土博物館

〒260-0856 千葉市中央区亥鼻1-6-1
Tel: 043-222-8231 Fax: 043-225-7106

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

歴史講座 「戦争の惨禍を伝える」 11月15日(日) 13:00～16:00

戦跡めぐりウォーキング 11月28日(土) 9:00～12:00

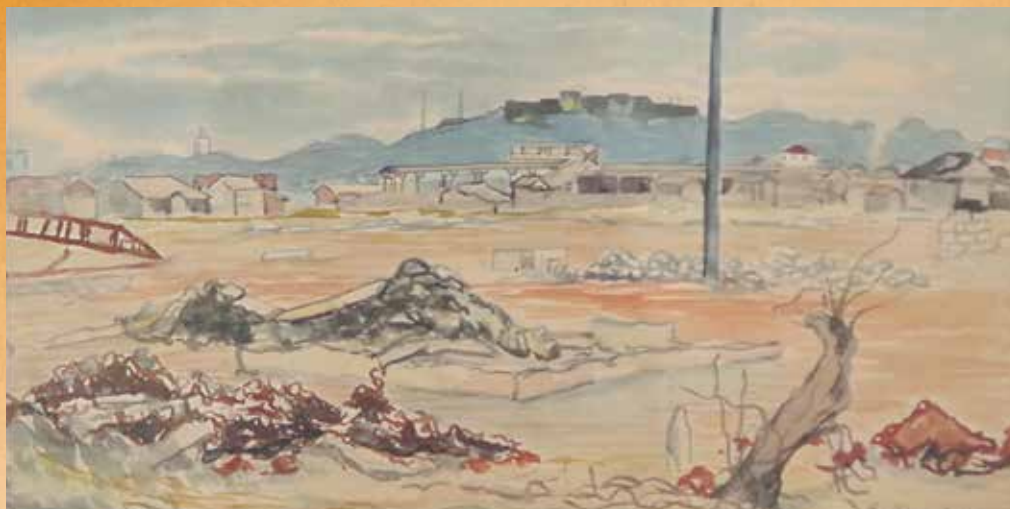
入館料
無料

交通案内 ●JR千葉駅下車 東口バスのりば⑦から、千葉大学病院行または南矢作行(千03、千03-1、千04)で「郷土博物館・千葉県文化会館」下車、徒歩3分 千葉モノレール「県庁前」下車、徒歩13分 ●JR本千葉駅下車、徒歩15分

URL: http://www.city.chiba.jp/edl/kyodo/kyodo_top.html

写真上「千葉県千葉商業学校軍事教練」(千葉県立千葉商業高等学校蔵)／写真下「吾妻町付近(昭和21年8月)」(当館蔵)





稲石永吉「校舎は廃屋に帰す」旧千葉高女(校庭より医大をのぞむ。)(千葉県立千葉女子高等学校蔵)



B29プロペラ部品(足立区立郷土博物館蔵)



写真「戦後軍用地へ入植した家族」個人蔵



各種除隊盃(個人蔵)



鉄道第1連隊で使用した軽便鉄道機関車模型(個人蔵)

千葉市は、太平洋戦争中の昭和20年(1945)6月10日と7月7日を中心に大規模な米軍の爆撃を受け、中心市街の約7割の焼失とおよそ1,600人の死傷者を出すなど甚大な被害を受けました。

戦中までの本市は、千葉連隊区司令部・鉄道第1連隊・気球連隊・千葉陸軍戦車学校など多くの軍事施設が設置されたことに加え、昭和17年(1942)に蘇我地先の埋立地で操業を開始した軍需工場の日立航空機千葉工場の存在が、米軍の空襲目標とされた主要因でした。

本展では「軍都千葉と千葉空襲」をテーマに、多くの軍施設が集まった「軍都」千葉市の状況及び2回に渡る千葉空襲とその被害を中心に据え、あわせて戦前戦中の市民生活の様相、並びに戦後における復興の進展及び本市の平和都市宣言などを紹介します。

千葉空襲は市制100周年を迎える本市の歴史において決して忘れてはならない事実です。本展が、改めて戦争の悲惨さと平和の尊さをお伝えできる機会となることを切に希望します。

〈関連イベント〉

①歴史講座

「戦争の惨禍を伝える」
11月15日(日)13:00~16:00

②戦跡めぐりウォーキング

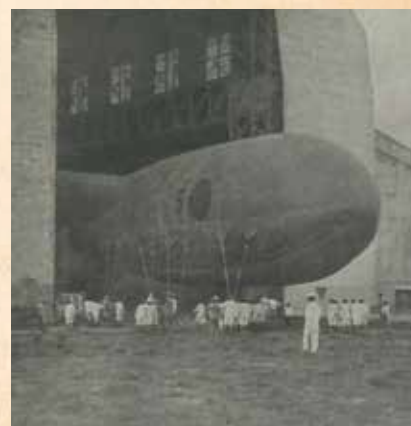
11月28日(土)9:00~12:00

※①②は事前募集です。

詳細は館HPをご覧ください。



絵はがき「婦人従軍歌」(個人蔵)



写真「千葉気球隊」(当館蔵)



写真「歩兵学校軍用犬写真(命二依り伏せノ一斉)」(当館蔵)

